

テーマ「地域社会と共栄する活動に学ぶ」

視察先 ●北海道ボールパークヴィレッジ

(北海道日本ハムファイターズ新ホーム球場)

●北広島市経済部ボールパーク連携推進室

(北海道日本ハムファイターズ誘致の主管部局)

●小樽芸術村・似鳥美術館

2023年9月28日(木)～29日(金)

参加費 100,000円/名(税込み) 募集定員15名

このたび「地域社会と共栄する活動」を①北海道ボールパークヴィレッジの見学から、②ボールパークの誘致を主管した北広島市経済部ボールパーク連携推進室の講話から、③さらに株式会社ニトリホールディングスが文化振興のため設立した小樽芸術村・似鳥美術館から、学ぶ視察会を企画致しました。ぜひみなさまのご参加をお待ちしております。

視察先【学びのポイント】

●北海道ボールパークヴィレッジ(北海道北広島市)

野球の試合を観戦するためだけの施設ではなく、ファン、パートナー、地域の皆様と一緒に、地域社会の活性化や社会への貢献につながる“共同創造空間”を目指し、国籍、年齢、性別を問わず、より多くの人がこの場所に集い、ともに夢や理想を実現していく。当日はスタジアムツアーに参加する。

●北広島市経済部ボールパーク連携推進室(北海道北広島市)

2016年6月、北広島市議会定例会において、市長が新球場誘致について表明、翌年の1月に日本ハムファイターズとの第1回実務者協議を実施、以降計17回に及ぶ協議を重ねる。誘致表明から約1年10ヵ月後の2018年3月、ボールパーク建設の候補地として内定する。北広島市への移転が決まるまで、地域住民への説明会、シンポジウムの開催、パートナー協定の提携など、多岐に亘る誘致活動を担ったのが同市経済部ボールパーク連携推進室。さまざまなステークホルダーとの協働に末に辿り着いた新球場の開業、その活動の軌跡を市役所にて講和頂く。

●小樽芸術村・似鳥美術館(北海道小樽市色内)

小樽芸術村は、ニトリホールディングスが2016年に設立した複合美術館。「北のウォール街」と呼ばれて北海道経済発展の礎を築いた小樽において、20世紀初頭に建造された旧荒田商会、旧高橋倉庫、旧三井銀行小樽支店、旧北海道拓殖銀行小樽支店、旧浪華倉庫の5棟を中心に、文化・芸術の素晴らしさを世界に発信していく場所を目指している。

●北海道大学総合博物館(北海道札幌市北区)

北海道大学総合博物館は1999年春開館、北大の多様な研究の伝統を今に伝えるとともに、最先端の研究をさまざまな実物資料や映像で展示・紹介している。

【9月28日(木)】1日目/8:35 茨城空港発==10:00 新千歳空港着==11:30 北海道ボールパークヴィレッジ着=昼食=スタジアムツアー==北広島市役所==18:00 エスコンフィールドにて観戦==夕食==22:30 ホテル着
宿泊先: ヴィアインプライム札幌(札幌市中央区南3条西2丁目10-1、シングルルーム)

【9月29日(金)】2日目/10:00 小樽芸術村・似鳥美術館==昼食==13:30 北海道大学総合博物館==17:00 新千歳空港発==18:25 茨城空港着

申込方法 下記お申込書にご記入の上、【8月19日】迄にメールまたはFAXでお申し込み下さい。

本件担当 茨城県経営者協会事務局(後藤) 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 11階

視察会(9月28日～29日)参加申込書(FAX 029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp)後藤行き

会社名		氏名	
ご参加者役職名		年齢	歳
住所(関連資料送付先)		携帯電話	
E-mail			